



地域貢献や学校行事などによるウェルビーイングの向上

校長 岸 知聡

令和8年度、本校はコミュニティ・スクールとして2年目を迎えました。生徒の皆さんに学校運営協議会やコミュニティ・スクールについてより理解してもらうため、5月7日の全校朝礼で、学校運営協議会委員の皆さん（当日ご都合のついた方）の紹介を行いました。あわせて私から、「生徒の皆さんや学校は、様々な地域の方々に支えられていること」、「中学生として地域に貢献できること」について話をしました。昨年度も、公民館や地域のイベントに部活動やボランティアとして参加したり、小学校の運動会に運営ボランティアとして参加したりするなど、多くの生徒が活躍しました。今年度も、5月10日に開催された内藤地域センターまつりでは、一中生がボランティアとして参加し、運営の手伝いを行い、実行委員会の方から感謝の言葉をいただきました。また、5月14日に校内の草むしりボランティアを募集したところ、1年生から3年生まで約100名の生徒の皆さんが参加してくれました。学校運営協議会委員や保護者の方にもご参加いただき、参加生徒はみんな一生懸命草むしりに取り組み、生徒・保護者・地域・教員が一体となった校内ボランティアを実施することができました。特に1年生など初めて校内ボランティアに参加した皆さんには、今回の学校美化の経験をきっかけに、地域でのボランティア活動にも積極的に参加してくれるようになることを嬉しく思います。中学生が地域に貢献するとともに、中学生と地域との交流が一層充実することを目指していきたく思います。

5月23日には、本校第79回運動会を開催しました。当日は多くの保護者・地域の方にご参観、ご声援をいただき、ありがとうございました。中学生の迫力ある演技を楽しんでいただけたことと思います。事前の全体練習では、私から生徒の皆さんに「お互いに応援し合い、励まし合い、前向きな言葉を掛け合いながら協力して行事をつくり上げよう」という話をしました。学年練習などでは、どの学年でも「がんばれ!」「がんばろう!」という、校舎内まで聞こえるほどの大きな声援が校庭に響き渡り、一生懸命練習に取り組む姿が見られました。今年度の運動会スローガン「百戦錬磨! 勝利と絆のゴールライン」にふさわしく、達成感を得るとともに、学級・学年・学校全体の「絆」や一体感が深まる行事となりました。

さて、令和5年6月に閣議決定された「教育振興基本計画」では、今後の教育政策に関する基本的な方針として、日本社会に根差したウェルビーイングの向上が示されています。また、「第3次国分寺市教育ビジョン」にも「ウェルビーイングの向上は必要不可欠な視点」とあります。国の計画では、「ウェルビーイングとは身体的・精神的・社会的に良い状態にあることをいい、短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義など将来にわたる持続的な幸福を含むものである。」また、「我が国においては、ウェルビーイングの獲得的要素と協調的要素を調和的・一体的に育む日本発のウェルビーイングの実現を目指すことが求められる。」と示されています。日本社会に根差したウェルビーイングの要素として、「幸福感（現在と将来、自分と周りの他者）」、「学校や地域でのつながり」、「協働性」、「利他性」、「多様性への理解」、「サポートを受けられる環境」、「社会貢献意識」、「自己肯定感」、「自己実現（達成感、キャリア意識など）」、「心身の健康」、「安全・安心な環境」などが挙げられています。今回の「校内ボランティア」や「運動会」などの取組を通して、「学校や地域でのつながり」、「協働性」、「社会貢献意識」、「自己実現（達成感）」などの向上につなげることができたのではないかと思います。今後も教育活動を通じてこれらの要素を高めていくことが大切であり、本校の教育活動が、生徒・家庭・地域・教員のウェルビーイングにつながることを目指していきたく思います。

